

令和 3 年度

# 事業計画書

公益財団法人 三重県水産振興事業団

# 令和3年度事業計画

## I. 目的

水産業に関わる社会的、経済的基盤の整備開発及び漁業経営の安定に係る事業を推進し、もって時代の要請に即応した安全で安心な水産物を安定的に供給すること並びに水産業の健全な発展を図るとともに地域経済に寄与することを目的とする。

## II. 法人を取り巻く経営環境

当法人は、次のような経営環境にありますが、関係機関との連携を図りながら、栽培漁業にかかる円滑な推進に向け、種苗生産等を通じて、県内の水産振興のため各事業に取り組むこととする。

### 1 外部的な要因として

- ①債券の超低金利状況が継続している
- ②行政機関の財政逼迫により委託費等が削減されている

### 2 内部的な要因として

- ①種苗生産施設の老朽化に伴う修理、改修費などの経費が増大している
- ②健全種苗の量産化や新たな種苗生産を開発育成する必要がある

## III. 令和3年度事業（公益目的事業）

### 1. 水産種苗生産供給事業

県民に安全で安心な水産物を安定的に供給するため、水産動植物の種苗生産及び中間育成を行い種苗供給する。

### 2. 水産生物量産化技術試験事業

種苗生産の量産化に技術的課題がある魚種の技術開発試験を行う。

### 3. 水産振興対策事業

水産資源の維持増大を図るため、漁協が実施する種苗放流事業等に助成する。

### 4. 啓発普及事業

水産振興に係る協議、調査及び啓発普及などを行う。

### 5. 資源増大実証事業

水産動植物の種苗生産、中間育成及び放流を実施するとともに、市場での放流魚の混入率を調査し、その効果を明らかにする。

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業

伊勢湾沿岸地域の漁協等が実施する種苗生産・放流事業に助成する。  
また、放流用種苗の中間育成を行い種苗供給する。

7. 伊勢湾水産振興事業

伊勢湾沿岸地域の水産資源の維持増大を目的とした放流とその効果調査及び安定的な漁業経営の育成対策並びに海域の水産動植物の生息域の保全、改善に関する事業に助成する。

IV. 事業内容

1. 水産種苗生産供給事業【予算額 218,593 千円】

1) 種苗生産事業

(1) 三重県栽培漁業センター（以下「浜島センター」という。）において、県から委託されたヒラメ、クルマエビ、アワビの種苗生産を行い、県からの指示により種苗を供給する。

その他にアコヤ貝、ピース貝、ガザミを種苗生産する。

浜島センター【51,552 千円】（県から受託）

浜島センター

(千尾、千個)

種苗名	県委託事業			アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業 アコヤ貝種苗生産緊急事業				伊勢湾 資源調査 試験事業	種苗生 産事業
	ヒラメ	クルマエビ	アワビ	アコヤ貝		ピース貝		ガザミ	アワビ 中間育成
サイズ	30mm	17mm	25mm	2mm	4mm	2mm	4mm	5mm	25mm
計画	200	3,100	100	490	430	110	140	1,999	147

(2) 三重県尾鷲栽培漁業センター（以下「尾鷲センター」という。）において、アワビ、マダイ、トラフグ、カサゴ、マハタ、ヒロメの種苗生産及び中間育成を行う。

マハタ種苗生産については、三重県水産研究所（以下「水研」という。）から基礎技術の移転を受け、東紀州活性化のため、種苗生産及び中間育成試験を実施する。また、出荷魚の全数に VNN ワクチンの接種を行う。

尾鷲センター 【145,223 千円】

尾鷲センター

(千尾、千個)

種 苗 生 産 事 業								
種苗名	アワビ			マダイ	トラフグ	カサゴ	マハタ	ヒロメ種糸
サイズ	15mm	25mm	30mm	30mm	20mm	50mm	130mm	—
計 画	50	427	121	600	248	59	170	4,200m

※25mmアワビの内147千個は浜島センターで中間育成する。

2) 種苗供給事業 【21,818 千円】

両センターで生産した種苗を要望のある市町、漁協等に供給する。

2. 水産生物量産化技術試験事業【予算額 15,166 千円】

1) マハタ 種苗生産技術高度化試験事業【4,200 千円】

マハタの種苗生産（中間育成）において、比重選別により高成長個体（開鰓率が高い）種苗を選別し飼育すれば生産効率の向上を図れると想定されるためその試験研究を水研へ委託する。

また、VNN発症予防に効果があるとされる、ワクチンの2度接種に対し支援を実施する。

2) クルマエビ成熟制御技術開発事業【1,950 千円】(JST から受託)

国内の研究機関とタイ王国との共同研究において、クルマエビ等の基礎技術を開発する。

浜島センターにおいて、クルマエビを用いた稚エビから親エビに至るまでの養成技術を改良するため、クルマエビの成熟・産卵を人為的に誘導させる、ホルモン投与法や飼料の開発について研究を実施する。

3) アコヤ貝種苗生産・飼育管理試験事業（県から受託）

アコヤ貝種苗生産緊急事業 【4,213 千円】

水研が調達した親貝を用いて、アコヤ貝（日本産）及びピース貝の種苗生産及び中間育成を緊急的に実施する。

#### 4) 海女漁業資源増大技術開発試験事業

アワビ親貝の成熟管理技術試験事業【603千円】(県から受託)

海女漁の重要な漁業資源となっているアワビ類の環境変化に対応した資源回復及び安定的な漁獲を推進するため、種苗生産の安定化と効率的な種苗生産をめざし、親貝が採苗に適した成熟状態を保つ水温管理技術の開発試験を実施する。

#### 5) 広域種資源造成支援事業【3,200千円】(全国豊かな海づくり協会事業)

広域に回遊する魚種の資源造成が円滑に行えるよう平成23年度に太平洋南海域栽培漁業推進協議会(千葉県～宮崎県)が設立され、神奈川・静岡・愛知・三重の4県は、トラフグを対象として共同で取り組んでいる。

当法人では、トラフグ種苗を8万尾生産し、6万尾を伊勢湾内に放流する。

#### 6) ハマグリの人工種苗生産技術開発事業【1,000千円】(水産庁から受託)

さけ・ます等栽培対象資源対策共同研究機関に参画して、伊勢湾の重要な漁業資源となっているハマグリ的人工種苗生産技術を開発する。

### 3. 水産振興対策事業【予算額 3,461千円】

#### 1) 外海域水産振興事業【3,461千円】

沿岸漁業の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等や県が整備した浮魚礁の管理に助成する。

また、もうかる漁業対策として、真珠養殖業におけるプロジェクト事業の進行管理を担う。

### 4. 啓発普及事業【予算額 3,450千円】

栽培漁業の円滑な推進を図るため、伊勢湾地域栽培漁業推進協議会及び三重外海域栽培漁業推進協議会を開催し、放流用種苗の中間育成、放流場所、放流効果等に関する協議を行う。

また、水産物消費拡大促進協議会等の実施する魚食普及活動に協賛、助成するとともに、県民や児童による種苗放流への支援、成果報告会の開催及びみえ栽培漁業ニュースやホームページなどを通じて、県民へ水産生物資源の維持増大の重要性について情報提供を行う。

さらに、水産庁の事業である水産多面的機能発揮対策事業の推進にかかる業務を、県、市町、他関係機関と共同して取り組むこととする。

## 5. 資源増大実証事業【予算額 47,626 千円】

### 1) 地域展開促進事業 【26,334 千円】

尾鷲センターで生産した、マダイ種苗 60 万尾を、同センターで 60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾口から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、水研の指導のもと、関係者と協力し、主要市場における漁獲や価格及び混入率等の調査を実施する。

### 2) 特定海域展開事業 【10,130 千円】

浜島センターで生産した、ヒラメ種苗 20 万尾を 4ヶ所で 70～80mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、放流効果を把握するため、主要市場で漁獲及び混入率等の調査を実施する。

### 3) 資源回復計画促進事業 【11,162 千円】

尾鷲センターで生産したトラフグ種苗 25 万尾を、3ヶ所で 50～60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾から三重外海域に放流する。

また、水研が行う主要市場で漁獲及び混入率等の調査に協力する。

## 6. 伊勢湾栽培漁業推進事業【予算額 78,497 千円】

### 1) 伊勢湾海域生物中間育成事業 【70,318 千円】

伊勢湾北部中間育成場においてクルマエビ種苗 155 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

また、伊勢湾南部中間育成場では、ヒラメ種苗 8 万尾、トラフグ種苗 3 万尾、クルマエビ種苗 155 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流する。

### 2) 伊勢湾海域資源増大事業 【3,095 千円】

伊勢湾海域の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業等に助成する。

### 3) 伊勢湾資源調査試験事業 【5,084 千円】

(1) ガザミ種苗を浜島センターで生産、中間育成をして要望のある海域へ放流する。

- (2) ハマグリ人工種苗生産技術開発事業で生産された、ハマグリ人工種苗を利用して、伊勢湾北部中間育成場において、中間育成試験を行う。
- (3) 沿岸漁業の漁獲量が減少傾向にある中、マコガレイを伊勢湾に試験的に放流する。

## 7. 伊勢湾水産振興事業 【予算額 24,356 千円】

### 1) 海域環境対策事業 【1,500 千円】

伊勢湾海域の環境保全を図るために実施する流木等ゴミ被害対策や底質改善事業、藻場・干潟の再生事業及び環境保全の啓発普及事業等に助成する。

### 2) 水産資源管理増大事業 【1,500 千円】

伊勢湾海域の水産資源管理や資源増大を図るため、重要貝類の種苗放流事業、資源管理対策事業及び資源保護に必要な漁場造成事業等に助成する。

### 3) 漁業経営安定対策事業 【21,356 千円】

漁業経営の安定化を図るため、伊勢湾内の漁協等が実施する各種の共同利用施設整備事業等に助成する。

## 令和3年度 収支予算書

(単位：千円)

科 目	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	43,550	47,157	-3,607
基本財産（振興）受取利息	18,390	19,846	-1,456
基本財産（栽培）受取利息	17,807	17,788	19
基本財産（伊勢湾）受取利息	7,353	9,523	-2,170
特定資産運用益	25,119	26,370	-1,251
特定資産受取利息	25,119	26,370	-1,251
事業収益	167,991	180,825	-12,834
受託事業収益	61,668	65,940	-4,272
生産物等収益	106,323	114,885	-8,562
受取補助金等	2,496	2,100	396
受取地方公共団体等補助金	2,496	2,100	396
受取負担金	20,759	20,794	-35
受取負担金	20,759	20,794	-35
雑収益	1,995	2,001	-6
受取利息	1,995	2,001	-6
<b>経常収益計</b>	<b>261,910</b>	<b>279,247</b>	<b>-17,337</b>
経常費用			
事業費	366,578	382,600	-16,022
役員報酬	3,850	4,400	-550
給料手当	98,806	98,522	284
賃金	35,126	38,499	-3,373
退職給付費用	8,944	18,106	-9,162
賞与引当金繰入額	7,165	6,298	867
福利厚生費	20,273	20,463	-190
旅費交通費	3,210	3,351	-141
通信運搬費	1,149	1,155	-6
減価償却費	8,139	8,711	-572
消耗品費	24,827	24,991	-164
修繕費	10,402	9,590	812
印刷製本費	290	350	-60
燃料費	6,054	6,550	-496
光熱水料費	27,701	27,836	-135
借損料	4,860	4,660	200
原材料費	2,887	2,870	17
餌料費	23,117	23,617	-500
種苗費	25,710	26,291	-581
新聞図書費	316	316	0
租税公課	9,714	9,251	463
保険料	970	970	0
会費	36	45	-9
助成金	30,556	33,360	-2,804

科 目	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	増 減
負担金	2,480	2,490	-10
委託費	6,960	6,960	0
研修費	30	50	-20
備品費	0	0	0
手数料	3,006	2,898	108
管理費	4,119	4,650	-531
役員報酬	350	400	-50
給料手当	1,762	2,014	-252
賃金	322	322	0
福利厚生費	448	448	0
会議費	120	150	-30
旅費交通費	250	450	-200
通信運搬費	50	50	0
消耗品費	123	122	1
印刷製本費	124	124	0
燃料費	20	20	0
新聞図書費	30	30	0
保険料	115	115	0
会費	157	157	0
負担金	125	125	0
研修費	33	33	0
手数料	20	20	0
雑費	70	70	0
経常費用計	370,697	387,250	-16,553
評価損益等調整前当期経常増減額	-108,787	-108,003	-784
投資有価証券評価損益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	-108,787	-108,003	-784
経常外増減の部			
受取負担金	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-108,787	-108,003	-784
一般正味財産期首残高	172,227	380,389	-208,162
一般正味財産期末残高	63,440	272,386	-208,946
指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	0	0	0
特定資産評価損益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,058,926	5,287,180	-228,254
指定正味財産期末残高	5,058,926	5,287,180	-228,254
正味財産期末残高	5,122,366	5,559,566	-437,200

